

# 長尾福祉社会報

平成30年4月1日

第37号



—長尾福祉社会理念—

障害をもっているも っていないなくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる

社会づくりをめざします。

## ごあいさつ

この度、高松くりの木保育園が無事に落成し、平成30年2月20日落成式を行いました。これもひとえに日頃からご支援、ご協力いただいております皆様のおかげと、心から感謝申し上げます。

さて、平成7年に設立いたしました長尾福祉社会ですが、皆様方のあたたかいご支援、ご協力をいただきまして、一昨年をもち、無事20周年を迎えることができました。この間、福祉関係施策や利用者のニーズも多様化し、福祉を取り巻く環境も大きく変化しましたが、長尾福祉社会では法人理念のとおり、障がい者・障がい児・高齢者などどのような立場の方でも一生涯支援できる福祉を目指して今日までやって参りました。そしてこの度、就学前の保育と教育、また支援が必要な子どもや保護者の支援ができるよう、認可保育園を設置運営するに至り、すべての年齢に応じた支援ができる体制が整いました。

新しい保育所の特長はソフト面では法人の今まで培ってきた機能を発揮すべく、あらゆる分野のスタッフと連携が取れる体制の他、ICTの活用で保育士の業務省力化を図り、少しでも多く子どもたちの育ちに寄り添える時間をとる工夫をしています。そして田舎法人だからこそできる自然教育や地域教育をいろいろと取り入れる予定です。そしてハード面では街との調和と落ち着ける環境を第一に考え、外観や中の造りは木の風合いを生かした造りとなっています。

待機児童対策だけでなく、目的でもあります「人としての尊厳を大切にできる精神と未来をしっかりと生き抜く力」を子どもたちが身に付けるための保育をしっかりと実践し、発信していきたいと思っております。今後のくりの木保育園に期待していただきたいと思います。

社会福祉法人長尾福祉社会 理事長 森田 浩之



今自分たちに  
できることを

障害者支援施設 のぞみ園 園長 岡 慎也

花の便りがあちらこちらで聞かれ、暖かい風が差し込み過ぎやすい季節となりました。日頃よりのぞみ園の運営に格別の御理解、御協力を賜り誠にありがとうございます。

今年度は障害者総合支援法の一部改正及び報酬改定というひとつの節目の年となりました。報酬改定に関しては厳しい改定になることも予想されていましたが障害福祉全体においてはプラス改定となり今後の運営に大きな影響はないと思われまふ。

とはいえ障害分野に限らず福祉の世界は運営面、人材確保などにおいても今後、今まで以上に厳しくなっていくことが予測されています。またのぞみ園としてもたくさん課題を抱えており、解決に向けてより一層の努力が必要だと感じております。

このような状況ではありますが職員一人ひとり、「何が出来るか」を考え、「今自分たちにできること」を一杯やっていくことが重要ではないかと考えております。これからのぞみ園は「のぞみを持って」を基本理念に地域の皆様とともにより良い施設づくりを目指し、取り組んでいきたいと思ひます。本年もぜひよりよくお願い致します。

平成30年度の目標と課題

目標

- ・利用者の意志及び人格の尊重
- ・利用者の立場に立った障がい福祉サービスの提供
- ・就労支援への取り組み
- ・安心安全な生活環境作りと整備

課題

- ・発達障害相談支援事業の充実
- ・相談支援事業の充実
- ・高齢利用者対応の検討
- ・グループホームの充実した運営



みんなが  
やさしい心と温かな目で  
助け合える社会に

特別養護老人ホームゆたか荘 施設長 朝倉 裕子

平成30年度がスタートしました。介護報酬の改定の年となり、各サービスの報酬や考え方等、新たな方向性が示されました。介護を必要とされる方が増大し、その支え手が減少していく中、必要なサービスはしっかりと確保しつつ、サービスの適正化・重点化を図ることが求められています。医療と介護が連携し、安心・安全で、自立支援・重度化防止につながる質の高いサービスの実現という国の方針に沿って、ゆたか荘らしいきめ細やかなサービスと安定した運営ができますように、職員が一丸となって努力して参ります。

また、社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」として、これまで担ってきた福祉サービス以外にも、職員の専門性やノウハウ、地域や学校関係者とのネットワークを活かし、高齢者、障がい者が安心して暮らせる社会づくりの協力させていただきまふ。地域での「福祉の啓発と介護サービスの質の向上」において、自法人はもとより、周辺施設に勤務している介護職員の方々にも身近にスキルアップできるような、介護実務者研修の講座をゆたか荘で開講することも検討中です。地域が一体となって、介護や認知症についての理解を深め、地域の誰もがやさしい心と温かな目で見守り、助け合える社会になりますよう、長尾福祉会にあるそれぞれの専門的な機能を活用し、地域福祉に貢献できればと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

ゆたか荘の基本方針

- ・職員の介護技術の向上に常に取り組み、ご利用者・ご家族にとって安心・安全な介護を行います。
- ・家庭的な雰囲気大切にしながら、心のこもった介護を行います。
- ・ご利用者の尊厳とプライバシーを守ります。

行動目標

- ・医療と介護が連携し、安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの提供
  - 多職種で協働し、褥瘡予防と排泄支援の取り組み
  - 専門職と連携し、自立支援・重度化防止に向けたリハビリテーション
  - 口腔衛生管理の充実と、栄養改善に向けた取り組み
  - 尊厳を大切にされた看取りケア



開園を迎えて

高松くりの木保育園 園長 中西 桂子

平成30年4月、高松市花園町に高松くりの木保育園が開園いたしました。無事に開園を迎えることができましたのも、ここまで支えてくださった方々の格別のご理解とご支援があったおかげと深く感謝申し上げます。

新しく保育事業を立ち上げる準備の時から携わらせていただきました。初めてのことで先の見通しが見えないうちではありましたが、理事長はじめ、共に働く職員の方々の熱い思いと行動力、決断力などに助けられました。その仲間と今後共に働くことができ、本当に心強く感じております。

まだ始まったばかりの若い保育園ですが、地域の皆様に愛され、利用者の皆様が安心して過ごすことができる保育園となるよう、また、子どもたちにとっては、保育園の中だけではなく、法人の中で、地域の中で、様々な人との出会いを通して、「私は愛されている」「守られている」と実感を持ち、自分らしさを発揮して過ごさす。その中で、豊かで柔らかい心が育つよう、職員一同、心を込めて保育の業に努めてまいります。

今後とも、ご理解とご支援をお願いいたします。

平成30年度  
高松くりの木保育園  
目標・方針

- ・笑顔であいさつ
- ・利用者や地域の方々とのつながりを大切に、心を向けて信頼関係を築く。



ショートステイセンター

ゆったりと過ごす時間をたいせつに

センター長 二宮 正代

ユニットの一日は、味噌汁とご飯の炊きあがる匂いで始まります。カーテンを開け、朝日の光で目覚めた方から朝食を摂り、食後のコーヒーを飲みゆつたりとした時を過ごします。

自宅で過ごしていた時と同じように、新聞を読んだり、囲碁を楽しんだり、毎日の洗濯物を自分の役割のように率先して畳んでくれたり、自宅でしていた役割、習慣を継続していただいています。時にはお買い物もや、季節感を感じられるドライブ・慰問に参加される事もあります。

現在13名の方がロングショートでご利用され、空床7床をショートの方がご利用されています。お一人おひとりの24時間シートや情報共有シートをもとに、習慣・生活リズムを大切に、ご家族が安心して任せていただけるようスタッフ一同頑張っています。

自宅でお一人で介護に悩んでいる方、頑張らない介護が良いのです。わがまま、気ままが言えるショートステイで、ほっこりしていただけたらと思います。



高齢者複合施設  
ハーティヴィラ  
亀鶴



包丁さばき、お見事です!



居室は全室個室。  
カーテンを開ければ窓からの景色が楽しめます。



職員も思わず息をとめて  
筆運びを見守ります。



職員も助けられています。  
ありがとうございます。



冬の風物詩「寄せ鍋」  
食事中の会話も弾みます。



将棋友達と一戦中。  
冗談を交えながらも真剣勝負!

王将

将兵



「鬼は外!」今年も明るい鬼たちが  
みなさんの笑顔を誘いました。



1年の締めくくり、餅つきです。  
おかげさまでつきたてのお餅は絶品でした。

「こんな生活を送りたい」をお手伝いします。

ケアプランセンターゆたか

センター長 鎌倉 節子

当事業所では、福祉系スタッフ3名 医療系スタッフ3名 計6名の介護支援専門員を配置しています。

ご利用者、ご家族の意向をお聞きし寄り添いながら、在宅での生活が継続できるよう、また、その方が望まれる生活ができるよう支援を行っていきたいと思います。

「介護保険の仕組みがよく分からない」「初めて介護が必要になった」「不安がある」など一人で悩まず、気軽に相談ください。



# ゆたか荘

## バス遠足月

副施設長 新聞 正義

紅葉シーズンの10月28日、観光バスに乗り、ご利用者18名とご家族11名職員14名の総勢43名で、遠足に行ってきました。

行先は兵庫県南あわじ市と徳島県鳴門市！南あわじ市では「休暇村 南あわじ」で旬のモノに舌鼓をうち、鳴門市では「渦の道」で、渦潮や景色を堪能。

しかし、台風接近の影響からあいにくの雨模様。幸いにも降り降りの時は、小降りもしくは雨が上がるというマジックが起り、大きな混乱は起こらなかったものの、「渦の道」に行くまでの駐車場の道中の長いこと長いこと。分かってはいたものの、雨だと距離も倍以上に感じて、ご利用者・ご家族、そして職員に負担をおかけしました。

そのような状況でしたが、どの参加者からも「しんどかったけど、こうやって行けることが良いや」施設に居ると普段こんなに歩かんけん良い運動になった」等と温かい言葉を頂きました。本当にありがとうございます。

このように、当施設では、近場にはなりますが遠足を計画し、ご家族とともに出席する機会をもつようにしています。今回の遠足では普段味わうことの出来ない豪華なお食事、渦や眼下に広がる広大な海原を観るなど、気分転換にもなり、また次への活力へと繋がっています。「介護が必要になり、一緒に旅行に行けるなんて思ってもいなかった。」と涙ながらにお話し下さるご家族の想いにも微力ながら応えていきたいと考えています。

遠足だけに限らず、自分であれば何をしたいか、「何をしてもらいたい」等を考え、「普通の生活」「当たり前」の生活をしっかりと提供していきけるよう、今後も継続して取り組みを行っていきます。



## 年忘れランチパーティー

介護職員 宮本 まゆみ

ゆたか荘忘年会を、ご利用者からのリクエストで「年忘れランチパーティー」と称し、オードブルメニューを召し上がっていただきました。種々とりどりのメニューから、思う存分召し上がっていただくと、「唐揚げが柔らかくて美味し」「ミートボールが美味し」「等々」と喜ばれ、いつもうれしい雰囲気、職員と一緒にゆっくりと食べる事ができて良かったこと、満腹いっぱい食べることができたこと、満腹。

食後は、会議交流室を映画館に見立て、美空ひばり出演の「花笠道中」を放映。ご利用者からの希望映画だったためか、上映中は席を立つ人もおらず、楽しんでいただけました。料理も映画も大好評で、多くの笑顔や笑い声を見聞きすることができました。今後も、ご利用者が笑顔多く過ごしていただけるよう行事に携わっていききたいと思っております。

## 地域交流餅つき大会

介護主任 木村 真吾

12月27日毎年の恒例行事となっている地域交流餅つき大会を開催したところ、今年も多くのご家族や地域の方々・子ども達が参加して下さい、盛大に年の暮れの雰囲気を感じながら過ごすことができました。

ご利用者の方々は、子ども達が餅を搗く姿を見て大変喜び、手拍子や「よいしょ」との力強い掛け声を掛けられておりました。「家でもよく餅つきよっとな。」と昔を懐かしむ方もおられ、普段車椅子で過ごされておられるご利用者も、「自分の番が回ってくる」と観客からの熱い視線と歓声を受け、自然と車椅子から立ち上がり、力強く杵を振り下ろされておりました。

搗きたてのお餅は柔らかく「やっぴり美味し」と会話に花が咲き、楽しい雰囲気のなか美味しく召し上がっていただきました。

ゆたか荘では、様々な行事毎に大勢の地域の方が来荘して下さい、大変うれしく思っています。地域の皆様との「繋がり」をこれからも大切に、様々な行事を計画していきますのでお気軽にご参加下さい。



## 新春喫茶

管理栄養士 杉山 沙耶

1月11日に、毎年恒例の「新春喫茶」を開催しました。新春喫茶では、「かねこ」歯科様より、新年のお祝いにと戴いた和菓子をお抹茶とともにふるまいました。

ご利用者は、色とりどりの美しい和菓子を見て、どれにしようかと真剣に選ばれていました。選んで頂いた和菓子とお抹茶を提供すると「美味しいなあ」と言いながら笑顔を見せられていました。

この日は、雪が降っており、とても寒い日でしたが、窓からは山々の雪化粧も見え、とても風情のある新春喫茶となりました。



## 18度目の春を迎えて

事務員 渡邊 貴公

平成12年に開荘し、はや18年。人に例えると、ゆたか荘は選挙権を得る年齢を迎えました。これも日頃からご利用者やご家族をはじめ、地域や関係機関の方々との協力のおかげです。

3月1日には、開荘記念行事として18周年を祝う会が行われました。昼食の赤飯や刺身などの祝い膳から始まり、午後からは毎年恒例「さめき民俗芸能保存会様」が来荘され、鮮やかな衣装に身を包み銭太鼓や舞傘の祝演を披露してくださいました。最後に代表の宮崎先生から「私も90歳を超えましたが、ゆたか荘に来るのは楽しみです。これからも健康と幸せを大切にしてください。」と話され大いに盛り上がりました。

今後も、ゆたか荘は「人生ゆたかに、老後ゆたかに、長寿を支える」をモットーとし、愛される場所となるよう努めていきますので、引き続きご指導ご鞭撻よろしくお願いたします。



# 職員紹介

## 生活相談員 として

生活相談員 副主任 須佐美 和生

私は、過去に高齢の女性からの頼み事に対応した際、「ありがとう」と感謝の言葉をいただいたことが、高齢者福祉の仕事へ関わるきっかけとなりました。時には失敗もありましたが、職員や高齢者・その家族との関わりが今日まで福祉の仕事から離れることなく続ける原動力となっています。20年たった今でも色々なことがあり、解決できることが良いのですが、いまだに自分に何ができるのか考えさせられています。解決の視点を間違つと良くない結果となるからです。ある心理学者の言葉ですが、「その人の生活やいとなみ、環境や人間関係、これまでの成長と発達、あるいは経験の積み重ね」という時間的経過による変化の全体像を理解することが心の理解と言われています。私一人では理解することはできません。ご本人・ご家族・全職員と一緒に

関わることで理解が深まり、より良い生活を目指す事ができるのではと、現在は考ええるようになりました。

生活相談員として、ご本人を中心とした関わりができるようこれからも務めていきたいと考えています。



# デイサービスセンター ゆたか

## 新たな発見を求めて

主任 渡辺 伸一

デイサービスでは年間を通して様々な活動を提供しております。利用者の方、職員双方が楽しみながら実施できることを motto に一緒に創作活動や鑑賞を通して明日への活力となるように取り組んでおります。

まだまだしたいこと、作りたいものなど利用者の方からの声を実現できていないことは多々あります。これからも共に取り組むことを続けながら利用者の方の新たな表情や様子が見られるようにしていきたいと考えております。

生け花教室



フラワーアレンジメント教室



うどん教室



豆まき



餅つき



運動会



太鼓の慰問



音楽教室

阿波踊り





## 男子寮

生活支援員 山石 久

10月4日に、姫路セントラルパークと姫路城へ遠足に行きました。姫路セントラルパークのドライブスルーサファリでは、色々な動物を間近で見ることができ、「すごい」や「大きい」など話されており、楽しい事ができました。姫路城では、世界遺産という事もあり観光客が多く混みあっていました。お城を見たりお土産を買ったりと、それぞれ皆さん楽しまれました。



## 女子寮

生活支援員 松川 恵子

連日の雨の中、気持ち良い秋晴れとなった10月3日、女子寮の皆さんで岡山県へ遠足に行きました。大型バスでカラオケや桃太郎の紙芝居を楽しみながら、きび団子で有名な廣業堂を訪れ、工場見学をさせていただきました。その後、岡山イオンモール内のバイキングでたっぷり食事を摂り、岡山城の後楽園では写真撮影と散策を楽しみ、ゆつくりとした時間を過ごしました。岡山県の魅力を味わう一日となりました。



## 南寮

生活支援員 山田 和広

さわやかな秋晴れの10月10日、恒例の秋の遠足へ行ってきました。今回の行き先は鳴門公園でした。みなさんも楽しみにされており、バスの中では車窓の景色や職員手作りのクイズをして表情良く過ごされていました。現地では新鮮な魚介料理をいただき、食後は巨大な大鳴門峡橋や海峽を一望できる渦の道を歩きました。残念ながら時間帯が合わず、大きな渦は見られませんでした。天候にも恵まれ心地よい潮風を浴びて、みなさん心身ともにリフレッシュできたようです。



## 通所・就労

生活支援員 植田 俊二

10月11日、岡山県高梁市に行きました。三年ぶりの大型観光バスでの遠足であり、みなさん出発前から楽しみにされていました。吹屋ふるさと村の観光では、ガイドさんと同行していただいたおかげで、広兼邸や旧片山家住宅が併得製造で巨大な富を築いたこと、弁柄製造工程などを詳しく知ることができ、大変有意義な遠足になりました。



## クリスマス会

女子寮 生活支援員 上原 麻莉

12月21日、たくさんのサンタさんのぞみ園に登場しました。園内全体が装飾されて華やかな雰囲気になります。食堂にてチキンやピザなどのクリスマスメニューを頂きました。どれもおいしくて完食。午後からは各寮の出し物で劇やダンス、ギターやカラオケが披露されました。おやつにはシャンメリーと事前選択したケーキ。サンタさんが運んでくれたのはプレゼントと幸せいっぱいの日、そして「ありがとう」という感謝の気持ちでした。



## 卓球大会

男子寮 生活支援員 山石 久

12月27日、高松市総合体育館で行われた、ゆづあいピックかがわ卓球大会に参加しました。日頃から卓球の練習をしている事もあり、参加者全員が一回戦を突破できました。

楽しく参加でき、また、勝つ事もできた結果になったと思います。





## 育成会 表彰式

昨年の11月、前保護者会長の神田喬司様が「中国・四国地区手をつなぐ育成会」より表彰されました。育成会活動の推進充実に大きく貢献されたという事でしたが、のぞみ園にとってもうれしいニュースとなりました。

のぞみ園 園長 岡 慎也

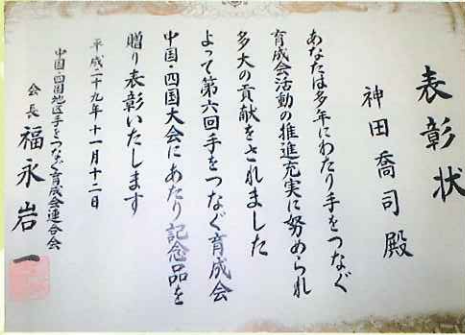


## もちつき



南寮 生活支援員 土居 侑花

12月23日、のぞみ園の食堂にてもちつきが行われました。皆さん元気なかけ声とともに積極的にもちをつくことができていました。また、警察の方など外部からの参加者も多く大変賑やかな雰囲気でした。昼食には、つきたてのもちを雑煮にして食べ、ひと足早いお正月気分を味わえられました。地域の方などたくさんの人と関わることができ、有意義な一日となりました。



## ひなまつり茶会

生活支援員 秋友 誠

3月3日ひなまつり茶会が行われました。今年度は、土曜日に開催ということもあり、人手において心配な部分がありました。大勢のお客様にお越しいただきありがとうございました。

お茶会に向けて、利用者さんと職員で作法などを一生懸命練習してきました。緊張して、完璧とは言えませんが、無事に終えることができました。達成感を得られたと思います。



## 児童デイサービス事業所

### 「音楽活動のもたらすもの」

児童指導員 砂川 玲子

昨年の7月より、当児童デイにおいて音楽タイムがスタートしました。歌やピアノを得意とするスタッフのリードで、不定期開催から、今では月2回の定期的な、指折り数えて待つ楽しみな活動になっていきます。

子どもたちの好きなアニメソングから、やや大人向けの映画音楽、クラシックまでの幅広い曲層で、リトミックやイントロ当てクイズ等もとり入れています。一人ひとりが生き生きと手拍子や嬉しそうな声など、内面から湧き起こる開放的な、とても自然な表情や動きで思いおもいに表現してくるようになりました。

最近になって、人前で大きな声で発表する子どもが増えてきたことも、音楽活動のもたらす効果ではないかと実感しています。





### 定員

0歳児 ひよこ	1歳児 たんぽぽ	2歳児 れもん	3歳児 せら	4歳児 つみ	5歳児 かせ	合計
9人	18人	18人	20人	20人	20人	105人

♪いつでも見学にいらしてください。



### ♪くりの木の由来

栗の木は桃栗三年といわれるように非常に成長が早い木であるが、しっかりとした根を張り、その幹も堅くすべてが有効活用されるほどである。そして、その栗の木には早くから、いが栗に守られたたくさんの実が生る。

保育園での成長の中で、人の基本として思いやる心やしっかりとした考え方を「幹」とすれば、保育所・保育士・家庭がときには「いが栗」の役目を果たしながら、「実」である個性を伸ばす豊かな子どもを、ここ「くりの木保育園」で育ていければと思う。



### 編集後記

「道は無限にある」  
私の好きな言葉の一つです。「出来ない」「無理」と自ら壁を作るのではなく、「どうすれば出来るか」「まずやってみよう。ダメなら次の手を…」。新年度を迎え、介護保険・障がい・保育のどの分野においても制度改正や課題等がありますが、冷静な頭(判断)・優れた手(技術)・そして温かい心をもって取り組みや方法を検討し、柔軟に対応していきたくものです。  
(ゆたか荘 新開)

氏砂高羽森のの玉山(旬)か恵国松小多久香吉黒真林長入松二中  
家川嶋鹿本ぞみ木地アね生方原谷田米西川田鍋尾谷井股  
須美由由園保者薬肉青ザノ恵辰純昭之恵良昌映玲人博土  
史彩子紀紀会局店果イ科園子雄司美助子子子子子子子子子  
様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様様

**本の寄贈**

藤井孝様より、ゆたか荘の図書コーナーに1500冊の寄贈がありました。幅広いジャンルの本が揃っていますので、是非、本棚を覗いてみて下さい。

(株)多ジ(株)百安な羽コ長長長長長長長  
キ田ヤテ十四松の床ツ尾尾尾尾尾尾尾  
セ文クエ工ラ花・幼保母幼幼幼幼幼幼幼  
イ房エラ支人薬勝ブ稚育稚稚稚稚稚  
ル堂ツル店会局利入園所園園園園園  
様様様様様様様様様様様様様様様様様様

ご支援ありがとうございました